

<全体分析>

試験時間 2科目 150分

解答形式

論述, 計算, 記述, 選択

分量・難易(前年比較) 分量(減少・変化なし・増加) 難易(易化・変化なし・難化)

分量が増加し, さらに題意の把握が難しい問題や複雑な計算問題が増加し, 難化した。
時間内にすべての問題を解くのは困難であったと思われる。

出題の特徴

高度な思考力と計算力を必要とする難しい問題が多かった。

その他トピックス

以前の東大の問題のように, 教科書の範囲を超えた内容の出題があった。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
第1問	論述 計算	天文	地学基礎 ・ 地学	連星, 系外惑星 題意を的確に把握し, 素早く計算することが必要である。単位換算に注意する必要がある。	やや難
第2問	論述 計算 記述	気象・海洋	地学基礎 ・ 地学	熱収支, 熱帯低気圧, 海洋 論述を簡潔に素早くまとめることが必要である。	やや難
第3問	論述 計算 記述 選択	固体地球 岩石・鉱物	地学基礎 ・ 地学	地震, 深成岩, 鉱物, 地殻熱流量 題意を的確に把握し, 論理的に考えることが必要である。	やや難

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で, 当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

例年, 題意を的確に把握する力や高度な思考力を必要とする問題が多く出題されている。差がつく問題はこのような難易度が高めの問題であるので, 過去問などを通して十分に練習をしておこう。また, 計算や論述を正確に素早くできるようにしておきたい。

一時期は易化していたが, ここ数年は難易度が以前のように高くなっている。古い過去問も可能な限り参照して, 難易度が高めの問題に慣れておこう。

分量が多く, 制限時間内にすべて終わらない場合は, 難易度の低い問題から確実に解いていくことが重要になる。時間を区切って模試や過去問を解くことで, 難易度の見極めや時間配分が適切にできるようにしておこう。